



2013-2014 年
RI会長 ロン パートン
第 2640 地区ガバナー 久保治雄



海南東ロータリークラブ

ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

第 1772 回例会

平成 26 年 1 月 20 日(月)

12:30～ 海南商工会議所 4F

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング 「我等の生業」
3. ゲスト紹介 和歌山県立図書館
文化情報センター長 谷口 義彦 様
4. 出席報告
会員総数 51 名 出席者数名 32 名
出席率 64.00% 前回修正出席率 84.00%

5. 会長スピーチ 会長 小椋 孝一 君

皆さん、こんにちは今日のゲストは、和歌山県立図書館文化情報センター長 谷口義彦様です。忙しい時間にも関わらず、ようこそお越し下さいまして有り難うございます。後で卓話の方よろしく御願います。



先日、関西の視聴率男と呼ばれた歌手でタレントの「やしき たかじん」さんが、1月3日に64歳の若さで死去されたと新聞に掲載されていました、死亡の原因は食道がんと書いてありました。ガバナー月信の中で堺清陵ロータリークラブ 健康管理委員会より「禁煙と慢性閉塞性肺疾患(COPD)」最近新聞や雑誌でCOPDという言葉をよく見かけるようになりました。今、中高生の病気として注目されています。この病気は肺に慢性の炎症が起こり、肺がゆっくりと壊れかれてきて、呼吸機能障害を起こす病気です。鼻や口から吸った空気は気管から気管支さらに細気管支へと枝分かれしてその先にある肺胞に はいります。肺胞は息を吸うと酸素が入り、息を吹く と二酸化炭素を出すので、我々人間にとっては大変貴重な臓器です。タバコを長年にわたり吸っていると、気管の壁が腫れて厚くなり、気管が狭くなると空気の流れが悪くなり、息苦しさが起こります。そして、蔭や為、繰り返し出るようになります。この状態が慢性気管支炎です。また、

肺砲が炎症で傷がつくと肺砲の壁が壊され弾力性が失われます。そうすると体に十分に酸素を取り込めず酸素不足になります。また、逆に肺から十分に空気を吐き出すことが出来ず、二酸化炭素が体にたまります。中高年になって軽い息切れや咳、疾が出てきたときは、一応この病気を疑う必要があります。多くの人は「年のせい」と軽く考え、放置することが多いのですが、次第に重症になります。遂に日常の軽い動作でも強い息切れが起こるようになり、最後はチューブで鼻から酸素を吸って生活することになります。だから、中高年になって咳や疾が長引いてきたときは、一度肺 機能検査を受けることが大切です。COPDの90%は喫煙者ですが、COPDになるのは喫煙者の15-20%とされています。だから、この病気になりやすい人となりにくい人がおります。タバコは、「百害あって一利なし」といいますが、タバコを吸っていると男』性は40歳時点での平均余命は吸わない男性より3.5歳短いといわれています、また、タバコにより癌の発生率も増えております。食道がん 3.7 倍、肺がん 4.39 倍、胃がん 1.79 倍、また、癌以外で、脳梗塞はタバコ 21 本吸っている人は 2.17 倍、女』性では 3.91 倍といわれ、糖尿病も 20 本以上吸う人は 1.6 倍かかりやすいといわれています。「タバコを吸うと落ち着く」とよく言われますが、それは、ニコチンに依存症であり、一酸化炭素中毒により肺がぼかされているのだということをよく心得て下さい。

また、フィリピンのルバング島から帰還した小野田寛郎さんが東京の病院で1月16日に亡くなりました。1922年和歌山県海南市で生まれ、1944年に陸軍中野学校二俣分校に入学。ゲリラ戦と情報戦の訓練を受け、卒業後はフィリピンのルバング島で任務を遂行、昭和49年まで、約29年間、日本の青年の鈴木氏に会うまで、バンング島に潜伏した。そして、上官である元谷口少佐に武装解除の命令を受けて投降。軍刀を渡し、日本に帰ってきました。帰国後は、ブラジルに移住して小野田牧場を経営。青少年の育成に努め、社会に貢献されました。

1月はロータリー理解推進月間です

四つのテスト 貴方はこれにたからしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか
- ②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：小椋 孝一 幹事：大谷 徹 SAA：重光 孝義

<http://www.kainaneast-rc.jp> E-mail : info@kainaneast-rc.jp

6. 幹事報告

幹事 大谷 徹 君

○例会臨時変更のお知らせ

那智勝浦RC 1月23日(木)→1月19日(日)
18:30～ ホテルなぎさや
(家族親睦新年会及び新入会員歓迎会)

○例会日に関するアンケートの協力お願い

○フィリピン訪問のご案内

7. 委員会報告

○国際奉仕委員会

委員長 桑添 剛 君

2014年の国際大会の参加者を募集します。

5月30日から6月5日までの日程で、オーストラリアのシドニーへ行きます。今月中に詳細をまとめ、ご案内いたします。なお、LCCのジェットスター航空を予定しています。多数のご参加をお願いします。

また、フィリピンの台風災害に伴うお見舞いの訪問を配布のとおり計画しています。こちら、是非、ご参加ください。

8. ゲスト卓話

「県立図書館の取り組み」

和歌山県立図書館 文化情報センター長 谷口 義彦 様

皆さん、こんにちは。本日は卓話に呼んでいただき、有難うございます。では、私の勤務する県立図書館の取り組みについて、お話をさせていただきます。

まず、図書館の歴史ですが、和歌山県立図書館は、明治41年(1908年)に和歌山城二の丸にて開館しました。蔵書数約8,000冊でスタート。その後、建て替えや大戦期前後の混乱もありましたが、長らく和歌山城内に立地していました。そして、平成5年に、現在の和歌山市高松(和歌山大学経済学部跡地)に複合施設「きのくに志学館」として新築移転しました。



初代館(1908～1938)



きのくに志学館

また、図書館は田辺のビックUに紀南図書館もあり、運営しています。平日は午前10時～午後7時、土日祝は午前10時～午後6時となっています。また、休館日は月曜日です。来館による図書の閲覧や貸出業務のほか、インターネットサービスの館内蔵書検索端末や当ホームページから貸出中の資料に予約することができます。このほか、探している書籍サポートや相談業務も行っています。

次に文化情報センターは、視聴覚資料を利用した学習の提供と「きのくに県民カレッジ」を活用した「わ

かやま学びネット」による生涯学習情報システムの提供等の学習機会の提供を行っています。また、多目的ホールとして、可動床・舞台照明・200インチのスクリーン・グランドピアノ等の設備、最大300席まで可能なメディアアートホールを設備しているほか、研修会、講演会などの会場もあり、皆様のご利用を受け付けています。



最後に県立図書館がめざす図書館像として、所蔵する資料を、市町村立図書館等を通じて県内全域に提供し、地域格差の解消に努めています。今後は一般開放を行う県立学校の図書館を通じた提供についても検討していきます。さらに、利用者の利便性を高めるため、ホームページやブログの充実にも努めるとともに、インターネット等を活用した新たなサービスについても検討を進めていきます。皆様のご利用をお待ちしています。

9. 閉会点鐘

次回例会

第1773回例会 平成26年1月27日(月)

海南商工会議所 4F 12:30～

卓話 海南商工会議所 会頭 上中 嗣郎 様



ニコニコ・BOX



Happy birthday!

1月のお祝い



◎会員誕生日

1日 中尾 享平 君 11日 平尾 寧章 君

◎奥様・旦那様誕生日

2日 中尾 みち子 様 7日 魚谷 佳加 様
29日 塩崎 和櫻 様 30日 大谷 洋子 様

◎結婚記念日

9日 朝井 修 君 10日 阪口 洋一 君
28日 大谷 徹 君 30日 角谷 太基 君

◎一般ニコニコ

角谷 太基 君

小椋孝一 君

大谷 徹 君

寺下 卓 君

理 事 会 一 同

親睦委員の方、新年会ご苦労様でした。当日は欠席して申し訳ありませんでした。

谷口さん忙しい中、卓話ご苦労様です。

谷口センター長、ゲスト卓話ご苦労様です。

谷口センター長、卓話よろしくお願ひします。

理事会の残金です。

会報委員会

委員長：岸 友子

副委員長：田中 祥秀

委員：角谷 太基 朝井 修 土井 元司 吉田 昌生